

ハンガリーが発行するグリーンボンド（サムライ債）の引受けについて

今般、みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎）は、ハンガリーが発行するグリーンボンド（以下「本債券」といいます。）の引受主幹事を務めましたので、お知らせいたします。

本債券で調達された資金は、全額または一部が適格グリーン支出（ハンガリーの低炭素で、気候変動に適応力があり、環境的に持続可能な経済への移行に貢献する、ハンガリーの中央政府予算内での支出）のファイナンスまたは借換えに充当されることが意図されています。

ハンガリーは、本債券の発行を含むグリーンボンド発行のために「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2018」^{※1}に即したグリーンボンドフレームワークを2020年5月に策定し、その適格性について、CICERO Shades of Green からセカンドパーティ・オピニオンを取得しています。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集・お客さまのSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NGOであるClimate Bonds Initiative^{※2}とパートナー契約を締結しています。その後2021年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はグリーンボンド等の引受けなど、さまざまなお客さまのSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社は、日本の円建て債券市場でトップティアの取引シェアを確保しています。

また、海外市場では、お客さまのさまざまなニーズに応えるためのクロスボーダー債券取引を強化し、実績も着実に増加しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上

- ※1 国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会（Green Bond Principles Executive Committee）により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドライン。

- ※2 ロンドンに拠点を置く国際的な組織で、100兆円の債券市場を気候変動対策のために活用することを目的とし、低炭素・気候耐久経済への迅速な移行のために必要なプロジェクトや資産への投資を促進する活動を行う。